観光社会資本の事例

テーマ 東京湾360度の大パノラマ海ほたる

【施設の状況写真】



夜明け前の海ほたるから木更津方向を望む。



夕焼けの海ほたるから川崎方向を望む。

【施設の利用写真】



海ほたるに集う人々。 川崎から木更津方向を望む。



海ほたるに集う人々。 5階デッキから川崎方向を望む。

【観光資源としての利用状況】

海ほたるは、快適なレストランや海を眺めながら過ごせる休憩所、車椅子対応の全身プリクラも設置しているアミューズメントコーナーなど、ドライブの疲れを癒してくれる魅力に溢れています。その他に、子供に人気の動物アートベンチや撮影用オブジェ、ロマンティックなブルーのイルミネーションなど、誰と来ても楽しい想い出作りができるスポットとなっています。また、近代技術の粋を結集して建設された東京湾アクアラインの建設技術資料を展示している技術資料館「海めがね」もあります。

テーマ 東京湾360度の大パノラマ海ほたる

【社会資本の基礎データ】

- 〇名称 一般国道409号「東京湾横断道路(アクアライン)」
- 〇所在地 千葉県木更津市中島~神奈川県川崎市川崎区浮島町(海ほたるは木更津市)
- 〇事業名 東京湾横断道路
- 〇事業主体 日本道路公団、東京湾横断道路株式会社
- ○事業期間 昭和62年7月10日(事業許可)~平成9年12月18日(供用開始)

【社会資本の役割・効果】

東京湾アクアラインの役割

①京浜地域と房総地域間の移動時間の短縮。②湾岸地域を環状に結ぶ。③首都圏の南回り バイパス。④首都圏における広域的幹線道路網の一部を構成する。

渋滞緩和

東京・神奈川からの交通迂回により京葉道路や東関東自動車道の渋滞緩和に貢献しています。

時間短縮効果

高速湾岸線を利用して、90~190分かかる川崎市と木更津市間を約40分で結んでいます。 定時制の確保

現在、1日約500便の高速バスが運行され約1万人の方にご利用いただいています。 また、木更津駅~羽田空港間を高速バスが約40分で結んでおり、鉄道利用の約100分より 約1時間短縮されています。

【位置図】



川崎市側からのアクセス



木更津市側からのアクセス

【関連ホームページ】 東京湾アクアライン公式ホームページ

http://www.jhnet.go.jp/aqua-line/